

# 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	0471300384
法人名	有限会社 バイタル・サポート
事業所名	グループホーム しわひめ
所在地 (電話番号)	宮城県栗原市志波姫南堀口380-3 (電話) 0228-23-5351
評価機関名	特定非営利活動法人 介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会
所在地	仙台市宮城野区榴岡4-2-8 テルウェル仙台ビル2階
訪問調査日	平成19年 9月 21日

## 【情報提供票より】(19年 8月 31日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 15 年 5 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	14 人	常勤	12 人, 非常勤 2 人, 常勤換算 13

### (2) 建物概要

建物形態	併設/○単独	○新築/改築
建物構造	軽量鉄骨プレハブ	造り
	1階建ての	階 ~ 1階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	21,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( 円)	○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	300 円
	夕食	500 円	おやつ	円
	または1日当たり		1000 円	

### (4) 利用者の概要(9月 21日現在)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護1	1 名	要介護2	3 名		
要介護3	9 名	要介護4	4 名		
要介護5	1 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.5 歳	最低	72 歳	最高	94 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	栗原市立栗原中央病院、近藤歯科医院
---------	-------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>①建物に対する地盤が良く震度7までは耐えられるように出来ているため、災害時における地区(山の上区)の指定緊急避難所として指定されており、社会資源として地域に貢献している。②「ヒヤリハットについて」気付いたことを1日1件以上記録してもらい、集まったデータはカンファレンス会議等で検討し日々のケアに活かしている。③食後の口腔ケアは毎食後に実施している他に月2回、築館の歯科医院が口腔ケア(往診)に来てくれる。④防火管理者及び衛生推進者を配置し、安全管理を行っている。</p>
--

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>「個別の栄養摂取状況の把握」前回は専門書により栄養バランスを考えた献立を作っていたが、さらに(有)バイタル・サポート(田尻)にいる栄養士と調理師の資格を持っている職員から助言・指導を受けている。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>職員全員で取り組み、日々の現場マニュアルとして利用している。また改善計画シートを作成し、ミーティングや運営推進会議で報告、検討し、サービスの質の向上に努めている。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議における主な討議内容として、グループホームに対する意見や質問、要望を受け、回答している。また自己評価、外部評価の結果で明らかになった課題について報告し、意見交換を行っている。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を言いやすいように契約時に説明したり、運営推進会議にも説明している。さらに第三者委員を運営推進会議の委員にお願いし、外部に意見、不満、苦情表せる場があることを繰り返し説明していくことをお願いしたい。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地区の「豊令者との集い」、敬老会、運動会等への参加、築館高校吹奏楽部・志波姫中学校の文化祭への協賛等、地域との交流がある。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	事業独自の理念であり、これまで3度の見直しをしているが、「地域との関係性」が弱い。	○	地域密着型サービスの意義を考え、「地域生活の継続」と「地域との関係性強化」を謳った事業独自の理念を職員全員で作ることを期待したい。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々の申し送り、ミーティング、定例会議時に理念にふれ確認している。言葉がけ、態度、記録など日々のサービス提供場面において理念が実践の中に活かされている。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地区の「豊令者との集い」、敬老会、運動会等への参加、築館高校吹奏楽部・志波姫中学校の文化祭への協賛、ボランティア「鹿踊り」が来てくれる等、地域との交流がある。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価は職員全員で取り組み、日々現場マニュアルとして利用している。また自己評価・外部評価の結果は改善計画シートを作成し、ミーティングや運営推進会議で報告、検討し、サービスの質の向上に努めている。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	グループホームに対する意見や質問、要望を受け、回答している。また自己評価、外部評価の結果で明らかになった課題について報告、意見交換をし、サービスの向上に活かしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政との関係は、成年後見制度を利用している人もいるため市への相談が多い。また市では運営推進会議への出席や外部評価への出席など良きパートナーとして互いに積極的に協力し合っている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	家族の来訪時に入居者の健康状態や普段の状況を口頭で伝えている。また来訪が困難な人に対しては広報誌「しわひめだより」や手紙、電話などで伝えている。金銭管理は本人、家族と相談の上、毎月初めに明細を手紙で郵送している。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員に言いやすいように契約時に説明したり、運営推進会議にも説明しているが意見、要望等の記録が少ない。	○	第三者委員を運営推進会議の委員にお願いし、外部にも意見、不満、苦情を表せる場があることを繰り返し説明していくことをお願いしたい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	基本的に異動は考えていない。新人が入った場合は、前任者と後任者が1ヶ月以上一緒に働いて入居者へのダメージを防ぐ配慮をしている。職員全員と各入居者が関わりを持てるように担当制はしていない。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	年間計画があり、一人月一回位の研修機会がある。研修報告は全体会議で行っている。実践研修の場合は宿題があり全員で取り組んでいる。現在介護福祉士の資格を目指している職員があり、シフトの中で支援している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	宮城県グループホーム連絡協議会、全国GH協会、エールなどに加入し、研修会にも参加している。同業者との交流を図り、ネットワーク作りや勉強会を今後も続けサービスの質の向上を図っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用開始前に施設長、ケアマネージャー、職員等が会いに行ったり、事業所に来てもらい見学体験などをして本人が職員や他の入居者に徐々に馴染みながら入居に移るように工夫している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は入居者のこだわりや苦しみ、哀しみ、不安、喜び、楽しみなどの思いを共感し、理解している。職員教育のなかで最も力を入れて指導している事項である。		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人の思い、暮らし方の希望、意向など家族等を交え本人の視点にたって話し合っている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日ごろの関わりの中で、本人や家族の思いや意見を聞き、職員全員で話し合い、介護計画を作成しているが、家族の同意が不十分である。	○	出来上がった介護計画は早急に家族にも渡し、説明をして同意の欄に記名押印を受けるようにして欲しい。
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画の遂行状況、効果など評価すると共に入居者の状態の変化や状況、家族、本人の要望に応じてその都度、または3ヶ月に1回は見直しをしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人、家族の状況に応じて通院や送迎など必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足度を高めるよう努力している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族が希望するかかりつけ医となっている。基本的に家族、職員の同行による受診となっているが、家族が事情で対応できない時には職員が代行するようにしている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化及びターミナルケアに関する意思確認書を作成し、事業所が対応できるケアについて、契約時に説明を行っている。		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1)一人ひとりの尊重</b>					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	本人を尊重する呼び方をしている。個人記録やメモを人前に放置していない。個人情報保護の取り扱いについて、すべての職員が理解している。勉強会やミーティングの折に職員の意識の向上を図っている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	起床、入浴、食事時間、外出など入居者のペースで行えるよう柔軟に対応している。朝遅く起きてきた入居者には食事時間も本人のペースに合わせている。また入浴も毎日、何時でも入浴することが出来る。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニューは職員が本で勉強しながら作っている。親会社の(有)バイタル・サポートに栄養士と調理師の資格を持っている職員がいて助言、指導を受けている。食事は入居者と職員が同じ食卓を囲み同じものを食べている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴は何時でも自由に入ることが出来る。入浴を拒む人に対し、毎日声がけをしているが、拒否が数日間続いている入居者もある。	○	拒否が続いてもシャワーにするとか足浴にするとか色々な方法を考え入浴拒否が数日間も続くことのないようにしていただきたい。
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	新聞を購読している人、書道、絵を書く人、縫い物の得意な人、畑の草取りをする人、食事の準備、後片付け、洗濯物のたたみなどそれぞれが自分の役割を持っており、張り合いや喜びのある日々を過ごしている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	買い物、散歩などは希望する人を連れて出掛けている。薬師山への花見、佐沼の鹿踊り、鳴子の紅葉、伊豆沼の白鳥など名所が多いので四季折々に遠出の機会を設けている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中は玄関に鍵をかけていない。フロアには必ず一人がいて見守りを徹底している。また一人ひとりのその日の気分や状態をきめ細かく把握している。地区の会議、防災会議、運営推進会議などで「見かけたとき」には連絡をしてもらうようお願いしている。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	マニュアルを作成している。避難訓練を年2回(そのうち1回は夜間を想定して)地域住民の協力を得て実施している。また避難通路の確保や消火器等設備点検を定期的に実施している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量、水分摂取量のチェック表を作成している。毎月体重測定を行い、随時親会社の栄養士から指導助言を受けている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	照明や日差しがまぶしかったり暗かったりしない。一日3回換気が行われ臭気や空気のよどみがない。個々の居室、共用空間など適温管理を行っている。大きめの手作りカレンダーが見やすい場所に設置されている。季節の花が飾られ居心地よく過ごせる場所となっている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	壁に写真や飾り物が貼ってあったり仏壇を持ってきている人もいるが、家から持ってきているものが少なくきれいに片付いている。	○	本人はいつか帰るべき所として自分の家を考えている等難しい事もあるが、家族ともよく話し合い使い慣れた家具や生活用品、装飾品などを持ち込み安心して過ごせるような居場所となる様お願いしたい。